

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画												
学部		高等部 普通科		学年		1年		学習グループ		重度・重複(7人)	教科等名	数学
年間授業時数		56.5		使用教室		1－5教室					使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員		水曜日	2時間目 (9：40～10：30)		MT	後野百香		ST	川崎剛、鈴木蒔、樋澤満璃奈、曾根将真、岡田雅人、久保田良一			
		木曜日	1時間目 (9：10～9：35)		MT	小宮寛太郎、樋沢満璃奈、岡田雅人		ST	田中愛実、曾根将真、後野百香			
ね ら い	(1)	形（円、三角、四角）、大きさ（大中小）、長さ（長短）の違いに気付き、弁別できるようになる。										
	(2)	図形を上位概念（三角形など）や下位概念（正三角形、二等辺三角形など）の違いを理解し、分類できるようになる。										
	(3)	1対1対応や数字、数詞と具体物の一致ができるようになる（1～5、1～10）。数量の違いを理解する。										
学期		単元名		月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて		
1 学 期	オリエンテーション 弁別学習 1対1対応と基礎 形を知ろう		4	5	・基本的な色（二色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別		・二色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、一種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の一つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
	弁別学習 1対1対応と基礎 形を知ろう		5	6.5	・基本的な色（二色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別		・二色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、一種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の一つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
	弁別学習 1対1対応と応用 パズルをしよう		6	6	・基本的な色（三色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別		・二色から三色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、一種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の一つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
	弁別学習 1対1対応と応用 パズルをしよう		7	4.5	・基本的な色（三色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別		・二色から三色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、一種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の一つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
2 学 期	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム		9	6	・1から5まで		・数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から5まで数唱する。		・最初は、教員が数唱しながら模範を示す。 ・最初の数だけ言うなど段階的に確実に学習を進める。			
	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム		10	6.5	・1から5まで		・数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から5まで数唱する。		・具体物を操作することで、理解しやすくする。			
	数唱と数字 具体物と数字の一致 金銭		11	3	・1から10まで ・硬貨の弁別		・数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から10まで数唱する。		・視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。			
	数唱と数字 具体物と数字の一致 買い物学習		12	5.5	・1から10まで ・硬貨の弁別		・数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から10まで数唱する。		・視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。			
3 学 期	具体物と数字の一致 数量 重さの計測		1	4.5	・1から10まで ・多い、少ない ・長い、短い		・数字のないタイルを横に並べ、数唱し数える。 ・タイルの個数と同じ数字を、数字タイルから選ぶ。 ・重さの比較をする。		・始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。			
	具体物と数字の一致 数量 長さの計測		2	5	・1から10まで ・多い、少ない ・長い、短い		・二つのトレイに1から5の数の違うタイルを入れる。 ・タイルの個数を数える。 ・長さの比較をする。		・始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。			
	1年間のまとめ		3	4	・今までの学習の振り返り		・一年間の確認を行い、再度振り返る。		・前回行った展開を同様に考える。			

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画													
学部		高等部 普通科		学年		1年		学習グループ		1グループ(7人)	教科等名	数学	
年間授業時数		53.5		使用教室		1－7 教室		1－1 教室		使用教科書		なし	
曜日・校時 担当教員		火曜日		4時間目 (11：30～12：20)		MT		澁江理子		ST		藤田裕一、斎藤彩音	
		木曜日		1時間目 (9：10～9：35)		MT		川崎剛		ST		鈴木蒔	
ね ら い	(1)	形（円、三角、四角）、大きさ（大中小）、長さ（長短）の違いに気付き、弁別できるようになる。											
	(2)	図形を上位概念（三角形など）や下位概念（正三角形、二等辺三角形など）の違いを理解し、分類できるようになる。											
	(3)	1対1対応や数字、数詞と具体物の一致ができるようになる（1～5、1～10）。数量の違いを理解する。											
学期		単元名		月	時数	主な学習内容			ねらい		手だて		
		四則計算 数量の比較		通 年	18.5	・暗算 ・筆算 ・グラフ			・数量の処理の仕方を理解し、慣れる。 ・折れ線グラフを作成し、数値の比較ができる。		・できた数をグラフにし、意欲につなげる。 ・毎回のグラフに点数も記入し比較しやすくする。		
1 学 期	オリエンテーション 弁別学習 1対1対応と基礎形を知ろう		4	2	・基本的な色（2色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別			・2色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
	弁別学習 1対1対応と基礎形を知ろう		5	3	・基本的な色（2色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別			・2色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
	弁別学習 1対1対応と応用パズルをしよう		6	4	・基本的な色（3色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別			・2色から3色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
	弁別学習 1対1対応と応用パズルをしよう		7	3	・基本的な色（3色）の弁別 ・基本的な形（円、三角、四角）の弁別			・2色から3色のボードの上にそれぞれの色と同じマグネットをのせる。 ・円→四角→三角の順で、1種類の型はめを行う。		・間違わないように、最後の1つを入れる学習から始める。 ・はめやすい型から行う。			
2 学 期	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム		9	4	・1から5まで			・数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から5まで数唱する。		・最初は、教員が数唱しながら模範を示す。 ・最初の数だけ言うなど段階的に確実に学習を進める。			
	数唱と数字 具体物と数字の一致 簡単なゲーム		10	4	・1から5まで			・数字の書いてあるタイルを1から5まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から5まで数唱する。		・具体物を操作することで、理解しやすくする。			
	数唱と数字 具体物と数字の一致 金銭		11	2	・1から10まで ・硬貨の弁別			・数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から10まで数唱する。		・視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。			
	数唱と数字 具体物と数字の一致 買い物学習		12	4	・1から10まで ・硬貨の弁別			・数字の書いてあるタイルを1から10まで板に並べる。 ・数字を指さしながら1から10まで数唱する。		・視覚的に示し、多角的に理解できるようにする。			
3 学 期	具体物と数字の一致 数量 重さの計測		1	2	・1から10まで ・多い、少ない ・長い、短い			・数字のないタイルを横に並べ、数唱し数える。 ・タイルの個数と同じ数字を、数字タイルから選ぶ。 ・重さの比較をする。		・始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。			
	具体物と数字の一致 数量 長さの計測		2	3	・1から10まで ・多い、少ない ・長い、短い			・2つのトレイに1から5の数の違うタイルを入れる。 ・タイルの個数を数える。 ・長さの比較をする。		・始めに数えたタイルのトレイを反利き手側に置き、常に比較できるようにしておく。			
	1年間のまとめ		3	4	・今までの学習の振り返り			・1年間の確認を行い、再度振り返る。		・前回行った展開を同様に考える。			

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画															
学部		高等部 普通科		学年		1年		学習グループ		2グループ(7人)		教科等名		数学	
年間授業時数		53.5		使用教室		1－7教室		1－2教室		使用教科書		くらしに役立つ数学（東洋館出版）			
曜日・校時 担当教員		火曜日		4時間目(11:30～12:20)		MT		井野口明香		ST		高橋亜希美、川崎剛			
		木曜日		1時間目(9:10～9:35)		MT		藤田裕一		ST		齊藤彩音			
ね ら い	(1)	お金や時計、暦などの基本が分かり、生活の中で活用できる。													
	(2)	基本的な加法の計算、数・量に関する問題を繰り返し行い、基本的な知識を身につける。													
	(3)	集団の中で行動する力を伸ばし、意欲的・自主的に行動できるようにする。													
学期		単元名		月		時数		主な学習内容		ねらい		指導の手だて			
		四則計算 数量の比較		通 年		18.5		・暗算 ・筆算 ・グラフ		・数量の処理の仕方を理解し、慣れる。 ・折れ線グラフを作成し、数値の比較ができる。		・できた数をグラフにし、意欲につなげる。 ・毎回のグラフに点数も記入し比較しやすくする。			
1 学 期	オリエンテーション		4		2		・年間の指導内容の説明 ・暦、計算、金銭、時計等 ※暦、計算は、通年		・年間の授業の予定や内容を把握する。 ・昨年度までの学習の理解度を確認する。		・教材教具を使って、大まかな一年間の授業内容を具体的に伝える。 ・様々な教材を使って、アセスメントをとる。				
	時刻を知ろう		5 6		7		・時刻、時間、○分前、○分後、時刻表		・時計を読むことができる。 ・日常生活の時刻がわかる。 ・時刻から時刻表を読み取ることができる。		・模擬時計の針を動かすことで、理解を深める。 ・身近な時間割や時刻表などを題材にする。また、タブレットなどを活用する。				
	簡単なゲーム		7		3		・ダーツやボウリングなど		・表に得点を記入し、合計を求める。		・分かりやすいゲームを用意し、興味関心をもてるようにする。				
2 学 期	金銭		9 10		8		・買い物学習 ・簡単なお小遣い帳		・1円、10円、100円を使って、ちょうどどの金額を支払うことができる。 ・移動教室のお小遣い帳をつける。		・実際のお金を使用する。 ・補助シートを使って、硬貨を数える支援をする。				
	いろいろな長さを測ろう		11 12		6		・長い短いの理解 ・定規の使い方		・物の長さを比較し、長い短いが分かる。 ・定規の計測の仕方を理解し、長さをcm単位で表すことができる。		・いろいろな物を比べたり、測ったりする。 ・始点、終点を意識できるように、補助する。				
3 学 期	合計を求めよう		1 2		5		・2つの数の和 ・合計金額		・電卓を使って、2つの数の和を求めることができる。 ・商品の金額を見て、合計金額を求めることができる。		・電卓の扱い方を一つずつ説明し、反復練習をする。 ・写真カードを使用する。				
	まとめ		3		4		・1年間のまとめ		・1年間で学習したことを確認する。		・1年間で学習したことを繰り返し、理解を深める。				

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画															
学部		高等部 普通科		学年		1年		学習グループ		3グループ(6人)		教科等名		数学	
年間授業時数		53.5		使用教室		1－6 教室						使用教科書		くらしに役立つ数学（東洋館出版）	
曜日・校時 担当教員		火曜日		4時間目（11：30～12：20）		MT		澤田大介		ST					
		木曜日		1時間目（9：10～9：35）		MT		澁江理子		ST		望月亜夢路			
ね ら い	(1)	生活に活かせる加減乗除の計算技術を反復して身に付ける。													
	(2)	日常生活で活かせる、金銭、時刻・時間、量について理解できる。													
	(3)	様々な図形について特徴を理解し分別できる。													
学期		単元名		月		時数		主な学習内容		ねらい		手だて			
		四則計算 数量の比較		通 年		18.5		・暗算 ・筆算 ・グラフ		・数量の処理の仕方を理解し、慣れる。 ・折れ線グラフを作成し、数値の比較ができる。		・できた数をグラフにし、意欲につなげる。 ・毎回のグラフに点数も記入し比較しやすくする。			
1 学 期	四則計算 数量の比較		4		2		・オリエンテーション		・年間で学習する内容の見通しをもつ。		・学期ごとに学習する項目を整理して理解しやすくする。				
	時刻、時間		5		3		・時刻表の読み取り ・前後の時間計算		・時刻を正しく読む。 ・時間の計算の仕方を理解する。		・具体的に時計の針を動かし、理解しやすくする。 ・生活の中での利用に結び付け、イメージしやすくする。				
	概数		6		4		・数の切り上げ		・それぞれの位での切り上げができる。		・年齢や人数といった身近なデータを用意し、イメージしやすくする。				
	金銭		7		3		・支払い、お釣りの計算		・数値で示したちょうどの金額が支払える。 ・概数を使用した支払いで、お釣りの計算ができる。		・模擬硬貨を使用し、イメージしやすくする。 ・数字が大きくなった時は計算機を使用する。				
2 学 期	平面図形		9		4		・平面図形の名前と特徴		・図形の名称、特徴を理解できる。		・作図を通して理解する。				
	空間図形		10		4		・立体を積む、並べる		・空間に立体がいくつあるか数えられる。		・円柱やブロックの具体物を使用する。				
			11		2		・立体図形の展開図		・立体図形の展開図を作図できる。		・作成された展開図を組み立て、立体からの展開図をイメージしやすくする。				
	数量の変化		12		4		・グラフの種類と特徴		・グラフの種類と特徴を理解できる。		・グラフを作成することで理解につなげる。				
3 学 期	長さ		1		2		・計測、計算		・計測した長さについて数値で表し、加減法で計算できる。		・メジャーを使用し、視覚的に理解しやすくする。				
	文章問題		2		3		・文章問題での立式		・文章を読んで簡単な四則計算の式を立てられる。		・四則計算のどれになるかを考えることに重きを置くため、立式のみ行う。計算は計算機を使用する。				
	まとめ		3		4		・時刻、時間 ・金銭 ・図形		・1年間行った内容を振り返り、再度理解できる。		・前回行った内容と同じ展開で振り返る。				

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画												
学部		高等部 普通科		学年		1年		学習グループ	A4(6人)	教科等名	数学	
年間授業時数		53.5		使用教室		1－2教室		1－7教室		使用教科書	改訂新版くらしに役立つ数学（東洋館出版）	
曜日・校時 担当教員		火曜日	4時間目（11：30～12：20）			MT	曾根将真		ST			
		木曜日	1時間目（9：10～9：35）			MT	澤田大介		ST	井野口明香		
ね ら い	(1)	生活に活かせる加減乗除の計算技術を反復して身に付ける。										
	(2)	日常生活で活かせる、金銭、時刻・時間、量について理解できる。										
	(3)	様々な図形について特徴を理解し分別できる。										
学期		単元名		月	時数	主な学習内容			ねらい		手だて	
		四則計算 数量の比較		通 年	18.5	・暗算 ・筆算 ・グラフ			・数量の処理の仕方を理解し、慣れる。 ・折れ線グラフを作成し、数値の比較ができる。		・できた数をグラフにし、意欲につなげる。 ・毎回のグラフに点数も記入し比較しやすくする。	
1 学 期		四則計算 数量の比較		4	2	・オリエンテーション ・四則計算			・年間で学習する内容の見通しをもつ。 ・日常的に使う計算ができる。		・学期ごとに学習する項目を整理して理解しやすくする。	
		時刻、時間		5	3	・時刻表を読み取り ・前後の時間計算			・時刻を正しく読める。 ・時間の計算の仕方を理解する。		・具体的に時計の針を動かし、理解しやすくする。 ・生活の中での利用に結び付け、イメージしやすくする。	
		金銭		6	4	・支払い、お釣りの計算			・数値で示したちょうどの金額が支払える。 ・概数を使用した支払いで、お釣りの計算ができる。		・模擬硬貨を使用し、イメージしやすくする。 ・数字が大きくなった時は計算機を使用する。	
		概数		7	3	・数の切り上げ			・それぞれの位での切り上げができる。		・年齢や人数といった身近なデータを用意し、イメージしやすくする。	
2 学 期		平面図形		9	4	・平面図形の名前と特徴			・図形の名称、特徴を理解できる。		・作図を通して理解できるようにする。	
		空間図形		10	4	・立体を積む、並べる			・空間に立体がいくつあるか数えられる。		・円柱やブロックの具体物を使用する。	
				11	2	・立体図形の展開図			・立体図形の展開図を作図できる。		・作成された展開図を組み立て、立体からの展開図をイメージしやすくする。	
		数量の変化		12	4	・グラフの種類と特徴			・グラフの種類と特徴を理解できる。		・グラフを作成することで理解につなげる。	
3 学 期		長さ		1	2	・計測、計算			・計測した長さについて数値で表し、加減法で計算できる。		・メジャーを使用し、視覚的に理解しやすくする。	
		文章問題		2	3	・文章問題での立式			・文章を読んで簡単な四則計算の式を立てられる。		・四則計算のどれになるかを考えることに重きを置くため、立式のみ行う。計算は計算機を使用する。	
		まとめ		3	4	・時刻、時間 ・金銭 ・図形			・1年間行った内容を振り返り、再度理解できる。		・前回は行った内容と同じ展開で振り返る。	

令和7年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画													
学部		高等部 普通科		学年		1年		学習グループ		5グループ(7人)	教科等名	数学	
年間授業時数		53.5		使用教室		1－1 教室		1－8 教室		使用教科書	くらしに役立つ数学（東洋館出版）		
曜日・校時 担当教員		火曜日	4時間目（11：30～12：20）			MT	菅原郁洋		ST				
		木曜日	1時間目（9：10～9：35）			MT	山崎敏子		ST	菅原郁洋			
ね ら い	(1)	生活に活かせる加減乗除の計算技術を反復して身に付ける。											
	(2)	日常生活で活かせる、金銭、時刻・時間、量について理解できる。											
	(3)	様々な図形について特徴を理解し分別できる。											
学期		単元名		月	時数	主な学習内容			ねらい		手だて		
		四則計算 数量の比較		通 年	18.5	・暗算 ・筆算 ・グラフ			・数量の処理の仕方を理解し、慣れる。 ・折れ線グラフを作成し、数値の比較ができる。		・できた数をグラフにし、意欲につなげる。 ・毎回のグラフに点数も記入し比較しやすくする。		
1 学 期	四則計算 数量の比較		4	2	・オリエンテーション			・年間で学習する内容の見通しをもつ。		・学期ごとに学習する項目を整理して理解しやすくする。			
	時刻、時間		5	3	・時刻表を読み取る。 ・前後の時間計算			・時刻を正しく読める。 ・時間の計算の仕方を理解する。		・具体的に時計の針を動かし、理解しやすくする。 ・生活の中での利用に結び付け、イメージしやすくする。			
	概数		6	4	・数の切り上げ			・それぞれの位での切り上げができる。		・年齢や人数といった身近なデータを用意し、イメージしやすくする。			
	金銭		7	3	・支払い、お釣りの計算			・数値で示したちよほどの金額が支払える。 ・概数を使用した支払いで、お釣りの計算ができる。		・模擬硬貨を使用し、イメージしやすくする。 ・数字が大きくなった時は計算機を使用する。			
2 学 期	平面図形		9	4	・平面図形の名前と特徴			・図形の名称、特徴を理解できる。		・作図を通して理解できるようにする。			
	空間図形		10	4	・立体を積む、並べる。			・空間に立体がいくつあるか数えられる。		・円柱やブロックの具体物を使用する。			
			11	2	・立体図形の展開図			・立体図形の展開図を作図できる。		・作成された展開図を組み立て、立体からの展開図をイメージしやすくする。			
	数量の変化		12	4	・グラフの種類と特徴			・グラフの種類と特徴を理解できる。		・グラフを作成することで理解につなげる。			
3 学 期	長さ		1	2	・計測、計算			・計測した長さについて数値で表し、加減法で計算できる。		・メジャーを使用し、視覚的に理解しやすくする。			
	文章問題		2	3	・文章問題での立式			・文章を読んで簡単な四則計算の式を立てられる。		・四則計算のどれになるかを考えることに重きを置くため、立式のみ行う。計算は計算機を使用する。			
	まとめ		3	4	・時刻、時間 ・金銭 ・図形			・1年間行った内容を振り返り、再度理解できる。		・前回行った内容と同じ展開で振り返る。			